

## 平成 30 年度事業報告

### 1. 学術集会, 講演会等の開催 (定款第 4 条第 1 号)

(1) 第 91 回年会は, 平成 30 年 7 月 1 日~6 日に国立京都国際会館で第 18 回国際薬理学・臨床薬理学会議 (WCP2018) と同時開催された。詳細は「(7) 内外の関連学術団体との連携及び協力」に記載。

- ・第 91 回 日本薬理学会年会 特別年会長: 成宮 周(京都大学・院・医)

### (2) 地方部会

- 第 138 回日本薬理学会関東部会 部会長: 三澤 日出巳 (慶應義塾大学・薬)  
平成 30 年 3 月 10 日 慶應義塾大学薬学部(東京都港区)  
参加者約 400 名, 一般演題 (口演 56, ポスター 52)
- 第 133 回日本薬理学会近畿部会 部会長: 酒井 規雄 (広島大学・院・医歯薬保健)  
平成 30 年 6 月 1 日 広島県医師会館(広島県広島市)  
参加者 143 名, 一般演題 (口演 68)
- 第 69 回日本薬理学会北部会 部会長: 松本 欣三 (富山大学・和漢医薬学研)  
平成 30 年 9 月 21 日 富山国際会議場(富山県富山市)  
参加者約 140 名, 一般演題 (口演 55)
- 第 139 回日本薬理学会関東部会 部会長: 榎山 俊彦 (東京慈恵会医科大学・医)  
平成 30 年 10 月 20 日 東京慈恵会医科大学一号館(東京都港区)  
参加者約 200 名, 一般演題 (口演 33)
- 第 71 回日本薬理学会西南部会 部会長: 笹栗 俊之 (九州大学・院・医)  
平成 30 年 11 月 17 日 九州大学医学部百年講堂(福岡県福岡市)  
参加者約 180 名, 一般演題 (口演 43, ポスター 25)
- 第 134 回日本薬理学会近畿部会 部会長: 徳山 尚吾 (神戸学院大学・薬)  
平成 30 年 11 月 23 日 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス (兵庫県神戸市)  
参加者 250 名, 一般演題 (口演 67), ランチョンセミナー 1

### (3) 公開講座の開催

- ・公開講座 (WCP2018 開催時) 平成 30 年 7 月 1 日 国立京都国際会館 Room B-2, 参加者 135 名  
『くすりはどのように創られるか』 演者: 池谷 裕二 (東京大学・院・薬)  
澤崎 達也 (愛媛大学)  
樽井 直樹 (株SEEDSUPPLY)
- ・公開講座(北部会) 平成 30 年 9 月 22 日 富山国際会議場(富山県富山市), 参加者約 30 名  
『高齢者 (フレイル) と漢方薬』 責任者: 松本 欣三 (富山大学・和漢医薬学研)
- ・公開講座(西南部会) 平成 30 年 11 月 18 日 福岡朝日ビル (福岡県福岡市)  
『薬物治療の疑問に答える 4 つの話』 責任者: 笹栗 俊之 (九州大学・院・医), 参加者約 30 名
- ・公開講座(近畿部会) 平成 30 年 11 月 23 日 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス(兵庫県神戸市), 参加者: 44 名  
『インターネット嗜癖による問題ーゲーム依存・SNS 依存についてー』 責任者: 徳山 尚吾 (神戸学院大学・薬)

### (4) 次世代薬理学セミナーの開催

- ・次世代薬理学セミナー 2018 平成 30 年 3 月 10 日 慶應義塾大学薬学部マルチメディア講堂(東京都港区)  
『薬理学の次世代を築く新たなアプローチ』 代表: 永井 拓 (名古屋大学・院医/附属病院薬剤部)

### (5) 看護薬理学カンファレンスの開催

- ・看護薬理学カンファレンス in 東京 (第 139 回日本薬理学会関東部会開催時)  
平成 30 年 10 月 20 日 東京慈恵会医科大学一号館(東京都港区)  
磯濱洋一郎 (東京理科大学・薬)  
上園 保仁 (大会長/国立がん研究センター研究所)
- ・看護薬理学カンファレンス in 福岡 (第 71 回日本薬理学会西南部会開催時)  
平成 30 年 11 月 17 日 九州大学医学部百年講堂(福岡県福岡市)  
池谷 裕二 (大会長/東京大学・院・薬)  
首藤 剛 (熊本大学・院・生命科学)

(6) 他学会等との共催学術集会の開催

- ・日本生理学会との共催シンポジウム 平成 30 年 3 月 29 日 (第 95 回日本生理学会大会時), カホートホール高松 (香川県高松市)  
『センシングチャネル研究へのセンシブルなアプローチ：生理学から薬理学へ』  
オーガナイザー：檜山 武史 (基礎生物学研)  
中川 貴之 (京都大学病院)
- ・日本毒性学会との共催シンポジウム 平成 30 年 7 月 20 日 (第 45 回日本毒性学会学術年会時), 大阪国際会議場  
『毒性発現と性差』  
オーガナイザー：黒川 洵子 (静岡県立大学・薬)  
佐藤 洋美 (千葉大学・院・薬)
- ・日本看護研究学会との合同シンポジウム 平成 30 年 8 月 18 日 (第 44 回日本看護研究学会学術集会時), 熊本県立劇場  
『免疫学の視点から薬を考える－患者さんに自信を持って助言できる看護師となるために－』  
座長：柳田 俊彦 (宮崎大学・医)  
演者：首藤 剛 (熊本大学・院・生命科学)

(7) 内外の関連学術団体との連携及び協力

1) 第 18 回国際薬理学・臨床薬理学会議 (WCP2018) の開催

『Pharmacology for the Future (Science, Drug Development and Therapeutics)』

2018 年 7 月 1 日 (日)～6 日 (金), 国立京都国際会館 (京都市左京区)

WCP2018 大会長：成宮 周 (京都大学・院・医)

WCP2018 副会長, 第 39 回日本臨床薬理学会学術集会会長：川合 眞一 (東邦大学・医)

参加者数：4,554 名

参加国数：81 ヶ国

国別参加者数：Japan 2,520, China 374, Taiwan 218, United States 162, Korea 136, Thailand 101, Australia 84, United Kingdom 81, Indonesia 64, India 49, South Africa 37, Spain 33, Nigeria 29, Hong Kong 28, Mexico 28, Russia 28, Italy 27, Germany 26, Canada 25, Finland 25, France 18, Sweden 18, Turkey 18, Denmark 17, Hungary 16, Netherlands 16, Croatia 13, Switzerland 13, Brazil 12, Malaysia 11, Portugal 11, Singapore 11

参加者 10 名以下

Chile, New Zealand, Poland, Cuba, Vietnam, Latvia, Argentina, Belgium, Slovakia, Austria, Egypt, Iran, Macao, Norway, Iraq, Ireland, Kenya, Saudi Arabia, Bosnia and Herzegovina, Czech Republic, Israel, Pakistan, Romania, Sri Lanka, Bulgaria, Colombia, Gabon, Ghana, Greece, Jordan, Lebanon, Serbia, Tunisia, Ukraine, Zimbabwe, Bahrain, Bangladesh, Belarus, Benin, Estonia, Kazakhstan, Kuwait, Lithuania, Myanmar, Philippines, Senegal, Slovenia, United Arab Emirates, Uruguay

演題数：一般演題 2,362 題 (日本：910 題, 国外：1,452 題),

特別講演 7 題, 分野別カテゴリーエッジ・レクチャー 33 題, 85 のシンポジウム

- 2) 第 50 回インド薬理学会年会 (2018 年 2 月 15～17 日, ムンバイ市) に飯野国際対応委員長が参加し招待講演を行った。
- 3) IUPHAR Nomenclature Committee (NC-IUPHAR) の会合 (2018 年 5 月 18 日～20 日, エディンバラ) に金井 好克教授 (大阪大学) が参加した。
- 4) IUPHAR Education Project (発展途上国等の薬理学教育を推進する目的のプログラム) に 3 年間の期限付き財政的援助の第 3 回目として平成 30 年度分 1 万ドルを送金した。

2. 学会誌等刊行物の刊行 (定款第 4 条第 2 号)

(1) Journal of Pharmacological Sciences の刊行

発行巻号	136 巻 1～4 号, 137 巻 1～4 号, 138 巻 1～4 号	掲載頁数	(篇数)
① Review		25 頁	( 3)
② Full Paper		846 頁	(109)
③ Short Communication		96 頁	( 23)
	合計	967 頁	(135)

(2) 日本薬理学雑誌 (くすりとかからだ/ファーマコロジカ) の刊行

発行巻号 (部数) 151 巻 1 号 (3,850 部), 151 巻 2 号 (3,800 部), 151 巻 3 号 (3,850 部),  
151 巻 4 号 (3,000 部), 151 巻 5 号 (3,300 部), 151 巻 6 号 (3,400 部),  
152 巻 1 号 (3,450 部), 152 巻 2 号 (3,500 部), 152 巻 3 号 (3,550 部),  
152 巻 4 号 (3,600 部), 152 巻 5 号 (4,100 部), 152 巻 6 号 (3,850 部)

	掲載頁数	(篇数)
① 特集序文	16 頁	(16)
② 特集および総説	349 頁	(59)
③ 実験技術	11 頁	( 2)
④ 創薬シリーズ	49 頁	( 8)
⑤ 新薬紹介総説	100 頁	(10)
⑥ キーワード解説	3 頁	( 1)
⑦ 最近の話題	8 頁	( 7)
⑧ サイエンス/リレーエッセイ	5 頁	( 5)
⑨ 学会便り/研究室訪問	8 頁	( 8)
⑩ アゴラ	24 頁	(12)
⑪ 広告	91 頁	
⑫ 綴込み, 目次等上記以外の頁	176 頁	
合計	840 頁	(128)

### 3. 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 4 条第 3 号)

#### (1) 第 11 回日本薬理学会江橋節郎賞授賞

萩原 正敏 (京都大学大学院医学研究科・教授)

#### 第 12 回日本薬理学会江橋節郎賞決定

石井 優 (大阪大学大学院医学系研究科・教授)

#### (2) 第 33 回日本薬理学会学術奨励賞授賞 (所属等の標記は授賞時)

泉 安彦 (京都大学大学院薬学研究科薬品作用解析学分野・助教/神戸薬科大学薬学部薬理学研究室・講師)  
『ドパミン神経軸索伸長の新たな評価系の確立とその制御因子に関する研究』

岡田 宗善 (北里大学獣医学部獣医薬理学研究室・准教授)

『心疾患における細胞外マトリックス分解断片 canstatin の役割解明』

清水 孝洋 (高知大学教育研究部医療学系基礎医学部門薬理学講座・准教授)

『ストレス反応の脳内制御機構に関する薬理学的研究』

#### 第 34 回日本薬理学会学術奨励賞決定 (裏表紙)

#### (3) 第 23 回 Journal of Pharmacological Sciences 優秀論文賞決定 (掲載順)

Glutamine protects against cisplatin-induced nephrotoxicity by decreasing cisplatin accumulation  
Hyun-Jung Kim, Dong Jun Park, Jin Hyun Kim, Eun Young Jeong, Myeong Hee Jung, Tae-Ho Kim,  
Jung Ill Yang, Gyeong-Won Lee, Hye Jin Chung, Se-Ho Chang  
Vol. 127, No. 1 pp. 117-126 (2015)

Involvement of TRPM2 in a wide range of inflammatory and neuropathic pain mouse models  
Kanako So, Kayo Haraguchi, Kayoko Asakura, Koichi Isami, Shinya Sakimoto, Hisashi Shirakawa,  
Yasuo Mori, Takayuki Nakagawa, Shuji Kaneko  
Vol. 127, No. 3 pp. 237-243 (2015)

#### (4) 2018 年度 JPS 優秀査読者賞

- ・ Tatsuhiko Furukawa (Kagoshima University)
- ・ Kinzo Matsumoto (Institute of Natural Medicine, University of Toyama)
- ・ Daisuke Nakano (Graduate School of Medicine, Kagawa University)
- ・ Takeya Sato (Tohoku University School of Medicine)

#### 4. 薬理学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- (1) 本会で使用されているカテゴリー表に新たな項目を追加し、再編した。
- (2) 全国医学部薬理学教室の講義・実習の実態調査アンケートを行った。

#### 5. 内外の関連学術団体との連携及び協力（定款第4条第5号）

- (1) 学術集会の共催および連携 上記1.の(6), (7)を参照
- (2) 学術集会の協賛・後援（平成30年総会から平成31年総会前日まで）

#### 後 援

---

1) 第13回日本分子イメージング学会総会・学術集会	平成30年5月31日～6月1日
2) 日本ケミカルバイオロジー学会 第13回年会	6月11日～13日
3) 医療薬学フォーラム第26回クリニカルファーマシーシンポジウム	6月23日, 24日
4) 国際アドレナリン受容体シンポジウム2018 (Adrenoceptor Symposium 2018)	6月28日～30日
5) 第27回神経行動薬理若手研究者の集い	6月30日
6) Systems Pharmacology and AI Based on Real World 'Big' Data	7月6日
7) 第13回トランスポーター研究会年会	7月21日, 22日
8) 第20回応用薬理シンポジウム2018	8月3日, 4日
9) 第23回日本病態プロテアーゼ学会学術集会	8月3日, 4日
10) 第65回脳の医学・生物学研究会	8月11日
11) 生体機能と創薬シンポジウム	8月23日, 24日
12) 第2回日本精神薬学会総会・学術集会	9月15日, 16日
13) 創薬薬理フォーラム第26回シンポジウム	10月11日, 12日
14) 第3回黒潮カンファレンス	10月13日, 14日
15) 神戸医療産業都市20周年記念 神戸国際創薬シンポジウム	10月19日
16) 第34回日本ストレス学会学術総会	10月27日, 28日
17) 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会合同年会	11月14日～16日
18) 第49回日本消化吸収学会総会	11月17日
19) 第3回トランスポーター研究会関東部会	11月17日
20) 公開シンポジウム「ビッグデータの創薬と医薬品適正使用への活用に向けた提言」	11月20日
21) 日本動物実験代替法学会第31回大会動物実験代替法学の体系化と人材育成	11月23日～25日
22) 第28回日本循環薬理学会学術集会	12月7日
23) 第66回脳の医学・生物学研究会	平成31年1月26日
24) 第10回日本安全性薬理研究会学術年会	2月28日～3月2日
25) 第28回神経行動薬理若手研究者の集い	3月13日
26) 倉智嘉久教授退職記念国際シンポジウム『Logic of life : Ion channel structure, function and physiology』	3月13日

#### 協 賛

---

1) 第25回HAB研究機構学術年会	平成30年5月24日～26日
2) 第22回活性アミンに関するワークショップ	7月7日, 8日
3) 第27回日本バイオイメーキング学会学術集会	9月2日～4日
4) CBI学会2018年大会	10月9日～11日

6. 会議等の開催状況（平成30年総会から平成31年総会前まで）

総 会	平成30年度通常総会	平成30年3月10日	(東京)
学術評議員会	平成30年度	平成30年3月10日	(東京)
理 事 会	平成30年度第3回	平成30年3月10日	(東京)
	第4回	4月28日	(東京)
	第5回	7月1日	(京都)
	第6回	11月30日	(東京)
	平成31年度第1回	平成31年2月	(書面決議)
	第2回	3月13日	(大阪)
総務委員会	平成30年度第1回	平成30年6月9日	(東京)
	第2回	11月19日	(東京)
財務委員会	平成30年度第1回	平成30年11月6日	(東京)
	予算案検討ワーキング	11月6日	(東京)
	WCP2018会計監査	10月16日, 17日	(東京)
	会 計 監 査	平成31年1月12日	(東京)
	監 事 監 査	25日, 29日 2月14日	(東京)
編集委員会	平成30年度第1回	平成30年3月10日	(東京)
	第2回	7月4日	(京都)
	国際編集者会議	7月3日	(京都)
研究推進委員会	平成30年度第1回	10月6日	(東京)
広報委員会	平成30年度第1回	平成30年3月10日	(東京)
	第2回	6月18日	(東京)
企画教育委員会	平成30年度第2回	平成30年6月25日	(東京)
	平成31年度第1回	平成31年1月30日	(東京)
次世代の会	平成30年度第1回	平成30年3月10日	(東京)
賞等選考委員会	平成30年度第1回	平成30年10月2日	(東京)
年会学術企画委員会	平成30年度第1回	平成30年8月31日	(東京)
江橋賞選考委員会	平成30年度第1回	平成30年10月26日	(東京)
国際対応委員会	平成30年度第1回	平成30年3月10日	(東京)
利益相反(COI)委員会	平成30年度第1回	平成30年6月9日	(東京)
	第2回	11月19日	(東京)

7. 会員状況（平成30年12月31日現在）

会員数および異動状況（下段は前年度との差）

代 議 員 (正会員に含む)	名誉会員	永年会員	正 会 員		総 数
			学術評議員	一般会員	
140	120	90	1,257	2,831	4,298
+1	+2	+5	+1	-31	-23

新入会者数：390名，退会者数：413名（逝去者，会費未納除籍者含む）

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。